

「チームネット」で改善活動

ネットトヨタ山形(株)・高橋社長を訪問



「チームネット」で挑戦と語る高橋社長。

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる

自動車業界は今、かつてない激動の転換期を迎えている。電気自動車（EV）や自動運転、それらに伴うインフラの整備等々、これからの社会は大きく様変わりし、想像もつかないような運転環境の実現が予想される。しかし、車と人の共存は、時代が変わっても変わることはない。人にやさしく、自然を大切に。笑顔で「ダッシュユ」を経営理念に「チームネット」で改善活動に取り組んでいる



山形大学国際事業化センターの協力を得て「プレミアム車検30分」を実現した



ネットトヨタ山形のイメージソングを歌う阿部菜々実さん(中央)と女性社員



東北芸術工科大学子ども園の園児たちが展示場の壁面に「未来の車」「未来の街」を描いた(あかね五店)

「エコドライブ教室」を開催しています。「ワイツ」に試乗していただき、エコドラのコツや方法を指導していますが、カタログ燃費の34.4km/lをはるかに超えるリッター60km、改善率200%以上の結果を出された方もおります。加えて「セーフティ」にも重点を置いており、ICS（踏み間違え時のサポートブレーキ）を体感していただくなどページョンアップしています。

「プレミアム車検30分」を実現し反響を呼んでいます。

高橋社長 山形大学国際事業化研究センターの生産性改善インストラクターから助言と指導を受け実現しました。当社はトヨタグループの改善活動を通して「ワイツ車検60分」を実現していましたが、さらに「お客様の限られた時間の中で、車検整備の時間を短くして自由な時間

を作り出したい」、「生産性を向上し、働き方改革につなげたい」、「バックヤードを短縮する分をお客様との対話に充てよう」との思いから、車検整備のエンジニアはもちろん、営業スタッフ、事務スタッフ全員参加で取り組みました。

インストラクターがビデオ撮影、動線距離測定等により作業分析を行い、より効率よく動けるような作業手順、動線、道具配置を提案。車検後の車内清掃や洗車を含め、お客様への引き渡しまで30分以内で行えるよう、現場スタッフが知恵と工夫を重ねて5秒、10秒と縮めていきました。全店（13店）で実施し対応車種も増やしていく予定です。

「新型車「YARIS（ヤリス）」の発売を前にネットトヨタ山形のイメージソングを発表しました。

高橋社長 当社は若い世代などが

ネットトヨタ山形(株)

創業(設立)1967年12月25日
資本金 7,000万円
売上高 143億円(19年3月期)
代表取締役社長 高橋修
本部所在地 〒990-2423
山形市東青田5丁目1番1号
電話 023-623-0502

新車を購入しやすいうれしい残クレ(残価設定クレジット)販売を勧められています。3人に2人が利用しており、この割合は全国トップです。イメージソングはさらに車に乗る喜び、楽しさを伝えようという企画しました。山形市出身のアイドルグループ「ラスプロアイドル」の阿部菜々実さん(17歳)がプロデュース。阿部さんと若手社員8人が会議を重ねて歌詞を検討し「花笠」「ヤリス」「ネットタワー」「ドライブ」のほか、地元への思いを込めて作り上げました。

「一車社会はEVや自動運転といった技術革新が急激です。」

高橋社長 われわれメーカーディーラーも社員一丸となって大きく変わらなければなりません。私はリーマンショック後に社長になり今年で11年目を迎えます。叔父である創業者の遠藤次郎遠藤商事(株)名誉会長のバイタリティーと即断即決を学ぶと同時に、経営理念や目標を共有するため、行動基準を記したカード(信条)というカードを全社員が携帯して、公私の目標を記入し朝礼で発表したり、面談を繰り返しています。

業界は100年に1度の大変革期です。315名の社員と一緒に「チームネット」のミッションである『山形一のお家のクルマやさん』を目指していきます。